

平成27年春の企業訪問実施結果について

【 企業（団体・金融機関）訪問記録 】

平成27年4月から6月にかけて、商工労働部職員による企業訪問調査を行った。

（主な調査項目）

- ①現在及び半年後の景況感
- ②為替の影響
- ③消費税率引上げの影響
- ④設備投資計画の有無
- ⑤東九州自動車道開通による見通し
- ⑥雇用人員状況及び今後の雇用見直し状況

平成27年7月

商工労働部

I 概観

現在の景況感は、消費税率引上げの影響も一段落し、横ばいとなっているが、円安基調の継続やデスティネーションキャンペーン等への期待から、先行きに対する見通しは徐々に明るくなりつつある。

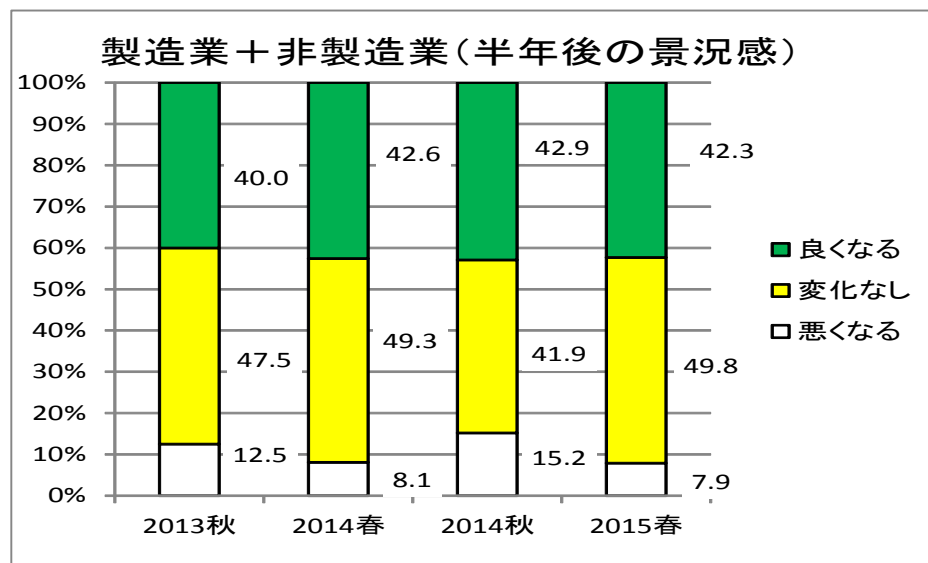
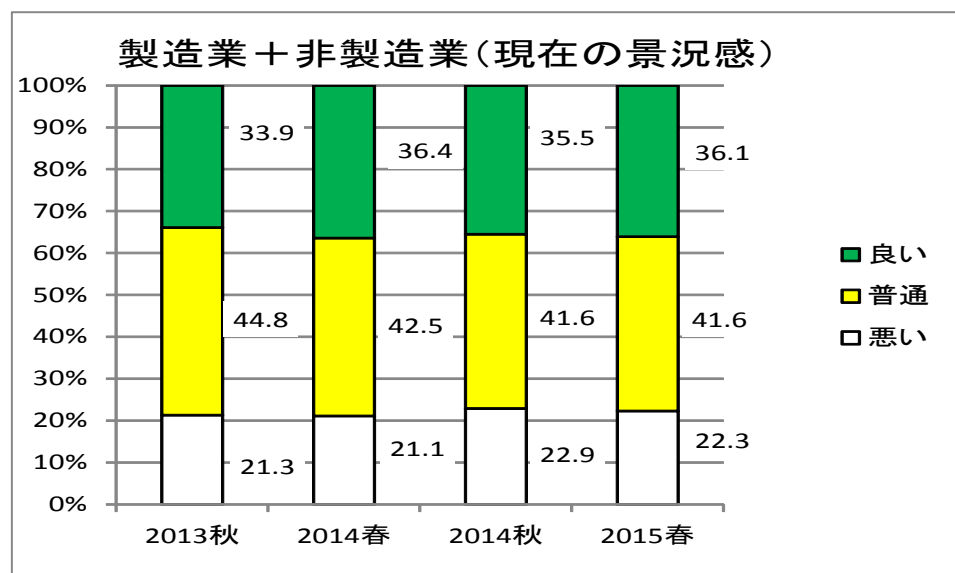
企業訪問時の各社の景況感

製造業＋非製造業	景況(現在) (%、ポイント)			景況(半年後) (%、ポイント)		
	良い	普通	悪い	良くなる	変化なし	悪くなる
2015春	36.1	41.6	22.3	42.3	49.8	7.9
2014秋	35.5	41.6	22.9	42.9	41.9	15.2
春-秋	0.6	0.0	▲ 0.6	▲ 0.6	7.9	▲ 7.3

○景況感はほぼ横ばいである。春の調査時と比較して、『良い』と回答した企業が0.6ポイント増加し、『悪い』が0.6ポイント減少している。

○半年後の景況感は、『良くなる』と回答した企業の割合はほぼ横ばいがだが、『悪くなる』と回答した企業の割合は7.3ポイント減少している。

○円安基調の継続による工業製品の輸出増や海外からの観光客増、さらにはデスティネーションキャンペーンや東九州自動車道の開通による観光客の増加に期待する声が聞かれた。



2015春の企業訪問 集計表（業種別） その1

業 種	景況感	訪問数	現在の景況判断						半年後の景況判断			為替の影響		
			良い	悪い	普通	D. I			良くなる	悪くなる	変化なし	あり	今後あり	なし
						今回	前回	差						
①製造業	→	217	88	49	79	18	23	△ 5	103	11	97	95	8	110
繊維	↘	5	0	3	2	△ 60	△ 50	△ 10	1	1	3	5	0	0
木材・木製品	→	9	2	4	3	△ 22	△ 50	28	3	1	5	4	0	5
紙・パルプ	→	2	1	0	1	50	0	50	0	0	2	1	0	1
化学・石油	↘	11	2	4	5	△ 18	25	△ 43	4	0	7	9	1	1
窯業・土石	→	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
鋼鉄・非鉄金属	↘	14	6	2	6	29	50	△ 21	7	0	6	6	0	8
食品加工	→	52	20	10	22	19	△ 5	24	27	2	23	24	2	26
一般機械	→	12	5	3	4	17	△ 7	24	5	1	4	1	0	10
電気機械	↘	31	14	6	11	26	70	△ 44	16	2	12	17	1	11
金属製品	↘	19	7	6	6	5	88	△ 83	10	2	7	5	1	13
造船	→	9	5	3	1	23	0	23	1	1	7	5	0	4
輸送機械(自動車)	→	31	13	4	13	30	15	15	18	0	12	10	2	18
医療医薬品	→	7	4	2	1	28	0	28	3	0	4	3	0	4
その他	→	14	9	2	3	50	36	14	8	1	4	5	1	8
②非製造業	→	197	61	43	93	9	3	6	69	21	105	48	2	140
土木・建設	↘	23	7	6	10	4	29	△ 25	2	2	18	4	0	18
卸・小売	→	35	9	12	14	△ 8	△ 23	15	12	6	16	15	0	16
運輸	→	8	1	2	5	△ 12	△ 25	13	2	1	5	4	0	4
通信・情報	→	52	17	3	32	27	17	10	25	1	26	4	0	48
対事業所サービス	→	26	10	9	7	3	△ 8	11	12	5	9	6	2	18
対個人サービス	→	29	7	8	14	△ 4	△ 9	5	7	5	17	6	0	22
飲食・宿泊	→	12	6	3	3	25	△ 12	37	6	0	6	5	0	6
リサイクル	→	2	1	0	1	50	50	0	0	0	2	1	0	1
その他	→	10	3	0	7	30	20	10	3	1	6	3	0	7
合計(①+②)	→	414	149	92	172	14	12	2	172	32	202	143	10	250
(2014秋)		(280)	(99)	(64)	(116)	(12)	(15)	(△3)	(119)	(42)	(116)	(80)	(12)	(170)
金融機関		30												
商工団体		0												
商店街		6												
各種団体・大学		0												
労働組合		31												
合 計		481	149	92	172	-	-	-	172	32	202	143	10	250

※合計欄はそれぞれの項目に無回答があるため、訪問数合計とは一致しない。

※D. I (Diffusion Index) : 景気について「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた数値。

2015春の企業訪問 集計表（業種別） その2

業 種	訪問数	消費税引上げの影響			設備投資計画			東九州自動車開通後の見通し		
		あり	なし	不明	あり	なし	今後 検討	ビジネス チャンス と考える	競争 激化 で 厳しい	不明
①製造業	217	57	127	33	99	91	25	49	4	164
繊維	5	3	0	2	3	2	0	0	0	5
木材・木製品	9	3	6	0	3	5	1	2	1	6
紙・パルプ	2	2	0	0	1	1	0	0	0	2
化学・石油	11	3	7	1	4	5	2	1	0	10
窯業・土石	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1
鋼鉄・非鉄金属	14	4	7	3	4	7	3	2	2	10
食品加工	52	12	28	12	23	23	6	19	0	33
一般機械	12	3	7	2	5	6	1	3	0	9
電気機械	31	7	20	4	15	10	4	7	0	24
金属製品	19	7	12	0	6	9	4	4	0	15
造船	9	0	7	2	6	3	0	1	0	8
輸送機械(自動車)	31	9	17	5	19	9	3	5	0	26
医療医薬品	7	1	6	0	2	4	1	1	0	6
その他	14	3	10	1	7	7	0	4	1	9
②非製造業	197	54	107	36	67	106	20	72	9	116
土木・建設	23	7	16	0	4	15	3	6	3	14
卸・小売	35	15	16	4	14	14	4	16	3	16
運輸	8	2	3	3	4	2	2	3	0	5
通信・情報	52	8	37	7	16	34	2	18	1	33
対事業所サービス	26	7	17	2	10	15	1	9	1	16
対個人サービス	29	4	9	16	8	18	3	7	0	22
飲食・宿泊	12	7	3	2	7	4	1	8	0	4
リサイクル	2	0	1	1	1	0	1	0	1	1
その他	10	4	5	1	3	4	3	5	0	5
合計(①+②)	414	111	234	69	166	197	45	121	13	280
(2014秋)	(280)	(84)	(147)	(45)	(97)	(145)	(36)	(81)	(7)	(182)
金融機関	30									
商工団体	0									
商店街	6									
各種団体・大学	0									
労働組合	31									
合 計	481	111	234	69	166	197	45	121	13	280

※合計欄はそれぞれの項目に無回答があるため、訪問数合計とは一致しない。

2015春の企業訪問 集計表（業種別） その3

業 種	訪問数	雇用人員状況			今後の雇用見直し予定				
		過剰	不足	過不足なし	あり				なし
					採用	削減	正規・非正規見直し	その他	
①製造業	217	8	102	101	115	2	0	6	90
繊維	5	2	1	2	3	0	0	0	2
木材・木製品	9	0	4	5	3	0	0	0	6
紙・パルプ	2	0	1	1	1	0	0	0	1
化学・石油	11	0	3	7	5	0	0	0	5
窯業・土石	1	0	0	1	1	0	0	0	0
鋼鉄・非鉄金属	14	0	8	5	8	0	0	0	6
食品加工	52	0	25	27	29	0	0	0	23
一般機械	12	1	3	8	4	1	0	0	6
電気機械	31	4	12	13	19	0	0	2	8
金属製品	19	0	10	9	8	1	0	2	8
造船	9	1	8	0	4	0	0	0	5
輸送機械(自動車)	31	0	17	13	20	0	0	2	9
医療医薬品	7	0	3	3	4	0	0	0	3
その他	14	0	7	7	6	0	0	0	8
②非製造業	197	5	98	91	98	3	3	0	89
土木・建設	23	1	10	12	13	0	0	0	9
卸・小売	35	1	13	18	11	1	0	0	20
運輸	8	0	5	3	5	0	0	0	3
通信・情報	52	1	28	23	35	1	0	0	16
対事業所サービス	26	2	11	13	11	0	0	0	15
対個人サービス	29	0	18	11	15	1	1	0	12
飲食・宿泊	12	0	5	7	4	0	0	0	8
リサイクル	2	0	2	0	0	0	0	0	2
その他	10	0	6	4	4	0	2	0	4
合計(①+②)	414	13	200	192	213	5	3	6	179
(2014秋)	(280)	(16)	(139)	(122)	(130)	(3)	(3)	(3)	(132)
金融機関	30								
商工団体	0								
商店街	6								
各種団体・大学	0								
労働組合	31								
合 計	481	13	200	192	213	5	3	6	179

※合計欄はそれぞれの項目に無回答があるため、訪問数合計とは一致しない。

Ⅱ 業種別の状況について

ⅰ 製造業

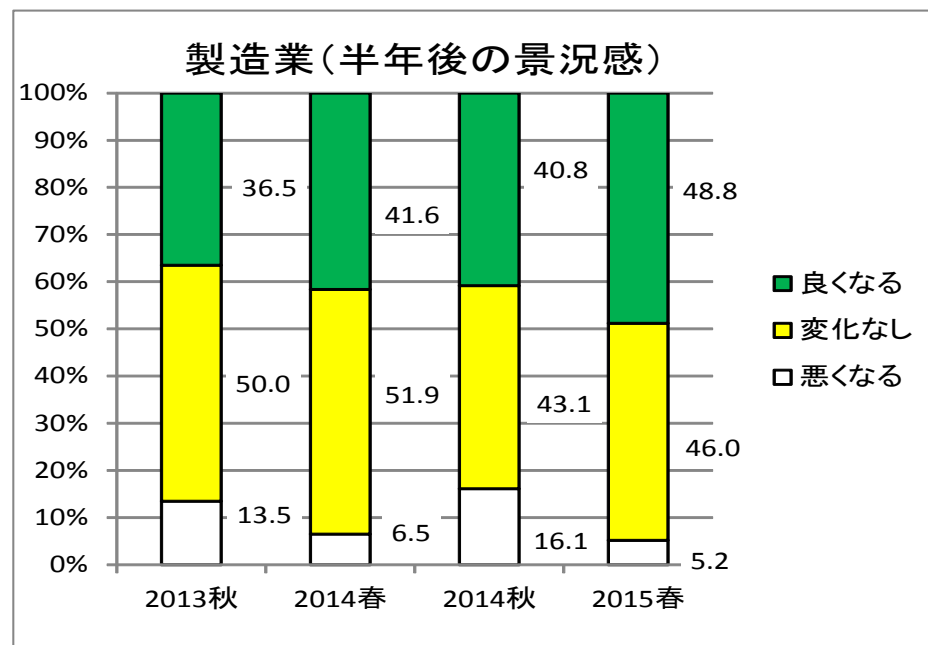
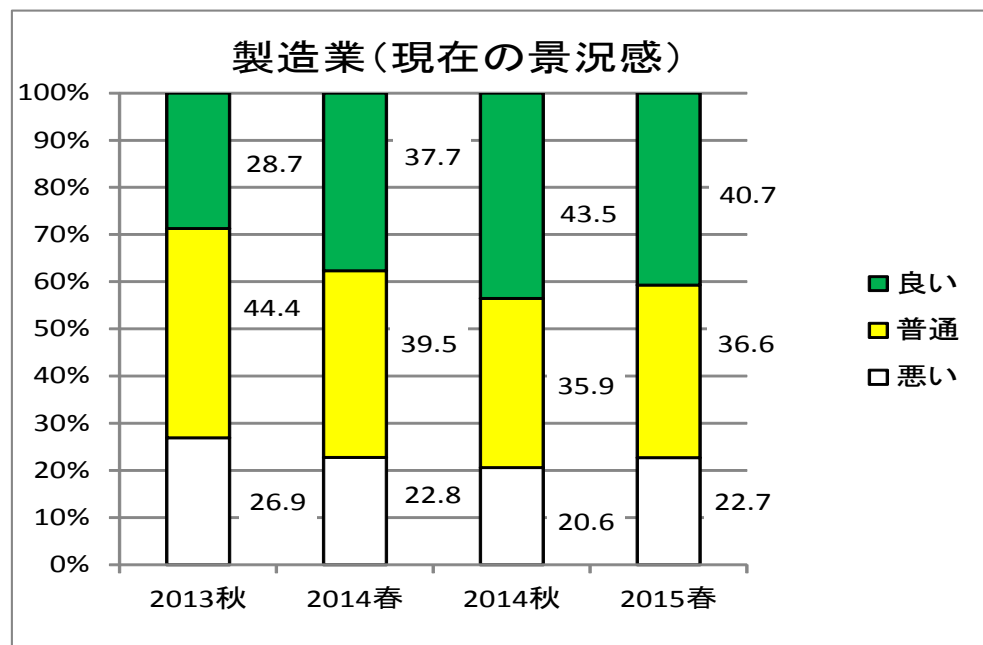
訪問時の各社の景況感

製造業	景況(現在) (%、ポイント)			景況(半年後) (%、ポイント)		
	良い	普通	悪い	良くなる	変化なし	悪くなる
2015春	40.7	36.6	22.7	48.8	46.0	5.2
2014秋	43.5	35.9	20.6	40.8	43.1	16.1
春-秋	▲ 2.8	0.7	2.1	8.0	2.9	▲ 10.9

○景況感はマイナスである。秋の調査時と比較して、秋は『良い』と回答した企業の割合が2.8ポイント減少し、『悪い』は2.1ポイント増加している。

○業種別にみると「食品加工」や「輸送機械（自動車）」は景況感が改善しているが、「電気機械」や「金属製品」のD. Iは前回比でマイナスになるなど、多少のばらつきが見られる。

○半年後の景況感は、『良くなる』と回答した企業の割合が8.0ポイント増加し、『悪くなる』と回答した企業が10.9%減少するなど、先行きに対しては明るさが見られる。



(主な業種の傾向について)

1 食品加工 (52社) ↗

景況感はプラスである。円安による原料高の影響は依然としてあるものの、新規取引先の開拓や新たなニーズへの対応により、今後の見通しについては前向きな声が多くなってきている。

- 新規取引先の開拓でおにぎり用の受注が増加している。
- カット野菜の需要に伸び。
- 円安による原料高の影響が大きい。
- 補助金によるパッケージング機械の導入により可能となったネット販売の売り上げを今後増やしていきたい。

2 電気機械【半導体等】(31社) ↘

景況感はマイナスである(D、Iはプラスを維持)。映像機器の売上げが低調であったことの影響等による。新分野に進出して好調な企業もあり、今後は新分野に挑戦して取引拡大と売上増を図りたいという声もきかれた。

- 主要取引先への売上げが見込みより伸びておらず、在庫がはけていない。
- 太陽光パネル関連装置の輸出など良好。
- パワー半導体など新分野での取引を拡大していきたい。

3 輸送機械【自動車】(31社) ↗

景況感はプラスである。大手自動車メーカーの販売好調を受けて、地場企業も概ね受注を伸ばしている状況である。

- 大手自動車メーカーの販売が好調で、取引量は増加傾向にある。
- 大手自動車メーカーの海外生産が間に合わないことから九州が増産となっている。中国の部品生産が一部戻ってきている。
- 大手自動車メーカーの新型車量産に期待。

ii 非製造業

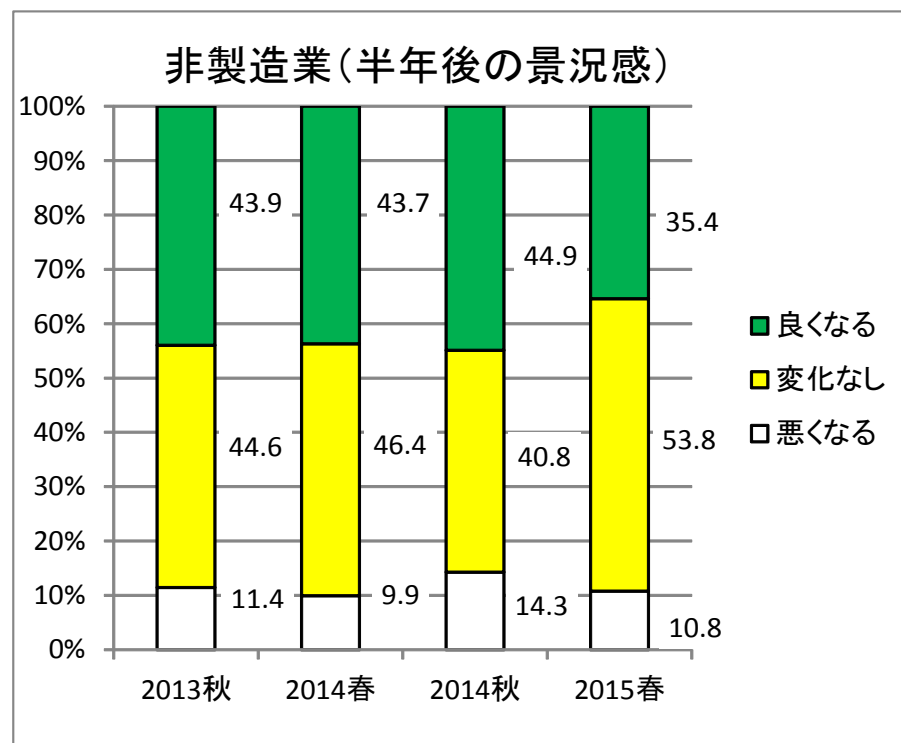
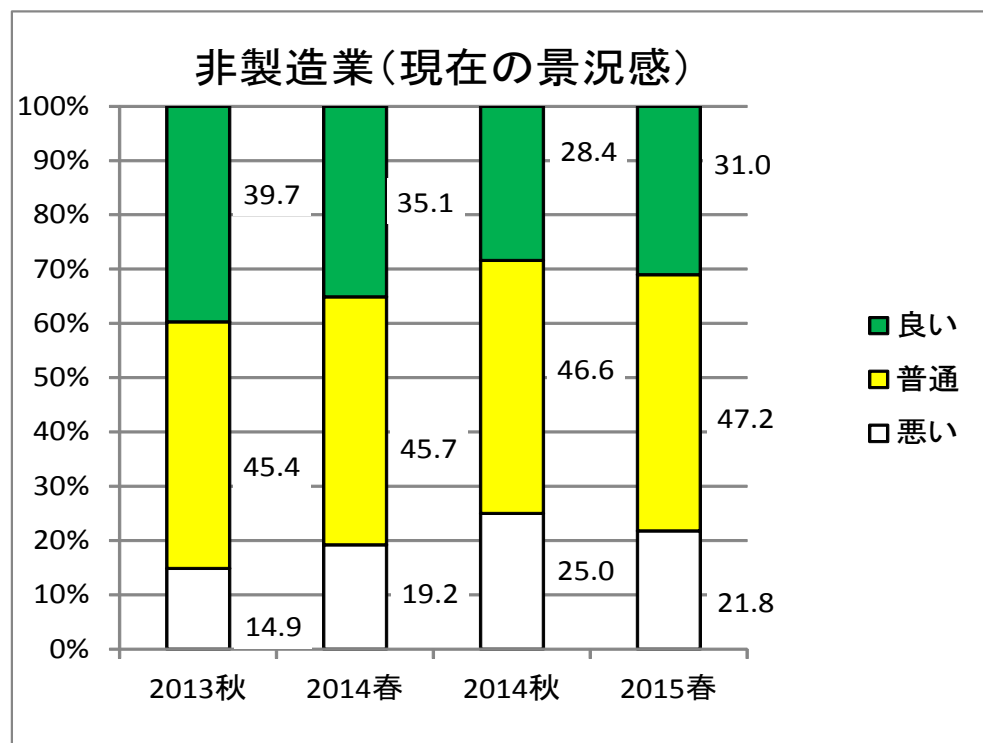
訪問時の各社の景況感

非製造業	景況(現在) (%)、ポイント			景況(半年後) (%)、ポイント		
	良い	普通	悪い	良くなる	変化なし	悪くなる
2015春	31.0	47.2	21.8	35.4	53.8	10.8
2014秋	28.4	46.6	25.0	44.9	40.8	14.3
春-秋	2.6	0.6	▲ 3.2	▲ 9.5	13.0	▲ 3.5

○景況感はプラスである。秋の調査時と比較して、秋は『良い』と回答した企業の割合が2.6ポイント増加し、『悪い』は3.2ポイント減少している。

○業種別に見て、景況感が悪化したのは「土木・建設」のみであり、その他のすべての業種で改善している。
(土木もD. Iはプラスを維持)

○半年後の景況感は、『良くなる』と『変化なし』で90%以上を占めており、デスティネーションキャンペーンに期待する声も多く聞かれた。



(主な業種の傾向について)

1 土木・建設 (23社)

景況感はマイナスである(D、Iはプラスを維持)。年度が変わり公共工事に減少感が出ている模様である。民間の住宅関係の工事は補助制度などの後押しもあり比較的堅調な様子である。

- 建設業は競争が激化し、売上げが減少している。
- 公共工事と民間工事のどちらも受注しているが、公共工事で減少傾向にある。
- 省エネ住宅ポイントなど、省エネ型の新築・リフォームを後押しする国の施策により仕事が増えている。

2 卸・小売 (35社)

景況感はプラスである(D、Iはマイナスのまま)。仕入れ値の上昇を販売価格に転嫁できたところが、売上上昇につながっている様子である。競争の激化により厳しい状況が続いている企業がある一方で、デスティネーションキャンペーンに期待する声が多く聞かれた。

- 一品の単価が上がっているため売上げも上がっている。
- 昨年から昨年比100%越えが続いている。従業員1人あたりの売上単価がアップしている。
- 去年も落ちていたが、今年はそれよりも少し落ちている。
- デスティネーションキャンペーン、東九州自動車道の開通効果に期待している。

3 通信・情報 (52社)

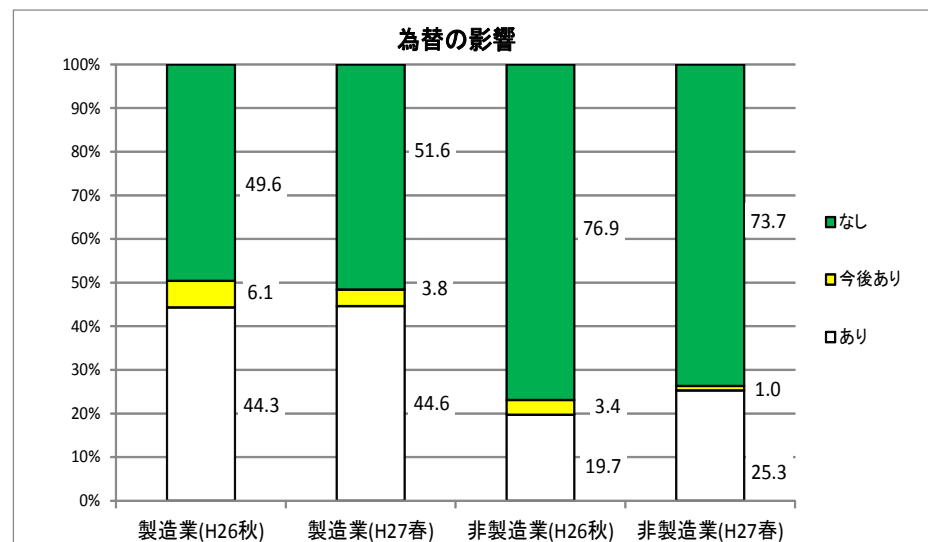
景況感はプラスである。マイナンバー制度等の影響により仕事が増加している模様である。需要の増加に対し、人手不足で対応できていないという声も多く聞かれた。

- 仕事の依頼は増えているが、人員が不足しており対応ができない状況。
- マイナンバー制度に何か問題が発生しない限りは順調に売上増が見込める。
- ユーザー等の増加により、取引、売上げともに増加中。

Ⅲ 為替の影響について

為替の影響

	あり	今後あり	なし
製造業(H26秋)	44.3	6.1	49.6
製造業(H27春)	44.6	3.8	51.6
非製造業(H26秋)	19.7	3.4	76.9
非製造業(H27春)	25.3	1.0	73.7

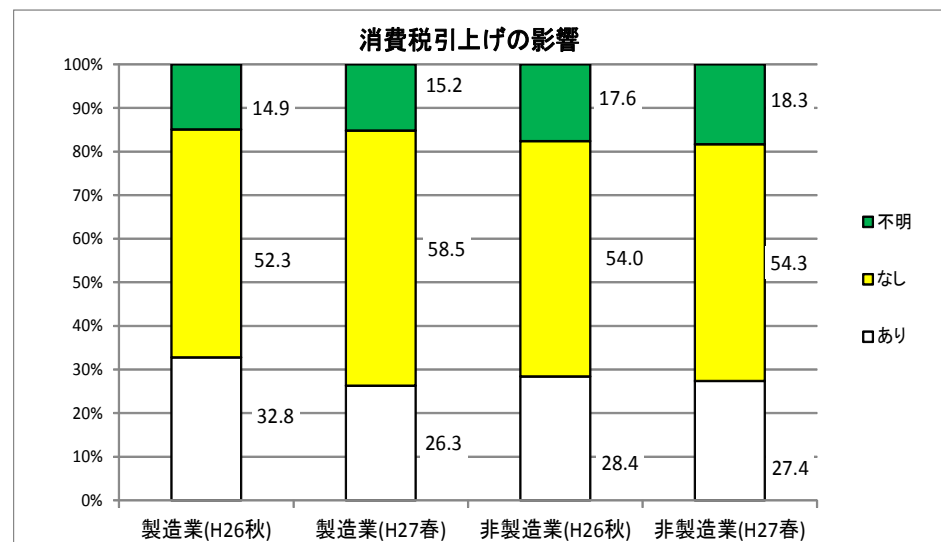


- 製造業は、秋の調査に引き続き『あり』と回答した約半数を占めている。
- 円安基調が続いており、好影響としては「円安による外国人観光客の増」や「海外向け輸出製品の売上げ増」など、悪影響としては、「原材料、燃料費の値上がり」などの声が聞かれた。

Ⅳ 消費税率引上げの影響について

消費税率引上げの影響

	あり	なし	不明
製造業(H26秋)	32.8	52.3	14.9
製造業(H27春)	26.3	58.5	15.2
非製造業(H26秋)	28.4	54.0	17.6
非製造業(H27春)	27.4	54.3	18.3

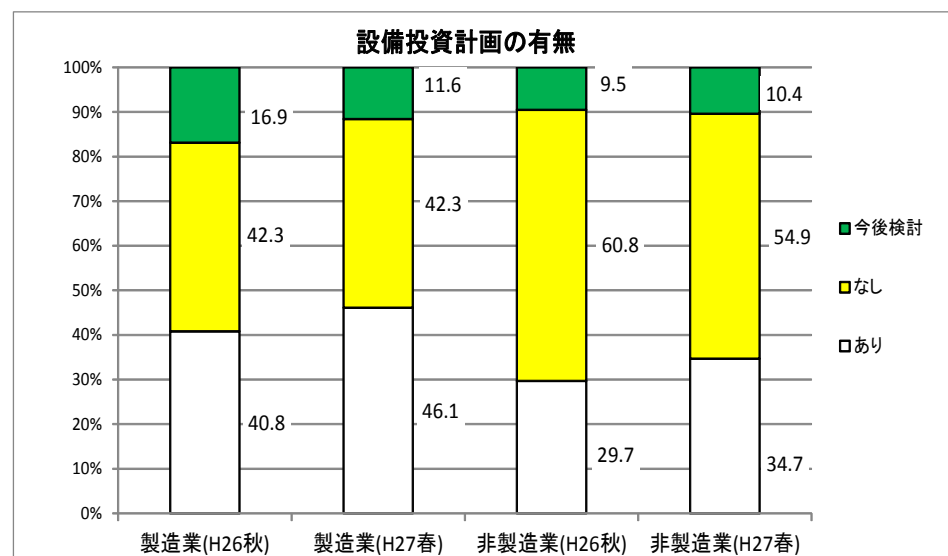


- 製造業、非製造業ともに影響なしと答えた企業の割合が増えている。
- 駆け込み需要による反動減から、売上が戻ったという声も増えている。

V 設備投資計画について

設備投資計画

	あり	なし	今後検討
製造業(H26秋)	40.8	42.3	16.9
製造業(H27春)	46.1	42.3	11.6
非製造業(H26秋)	29.7	60.8	9.5
非製造業(H27春)	34.7	54.9	10.4

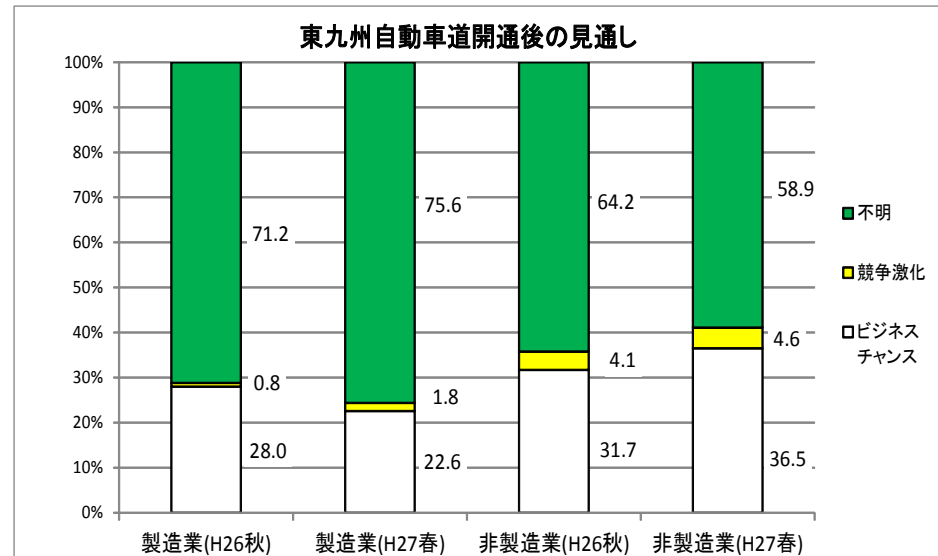


- 『計画あり』は製造業で5.3ポイント、非製造業で5.0ポイント、秋の調査からそれぞれ増加している。
- 『計画あり』の内容は、国、県の支援制度を活用した設備導入や、生産ラインや工場の増設などであった。

VI 東九州自動車道開通による見通しについて

東九州自動車道開通による見通し

	ビジネスチャンス	競争激化	不明
製造業(H26秋)	28.0	0.8	71.2
製造業(H27春)	22.6	1.8	75.6
非製造業(H26秋)	31.7	4.1	64.2
非製造業(H27春)	36.5	4.6	58.9

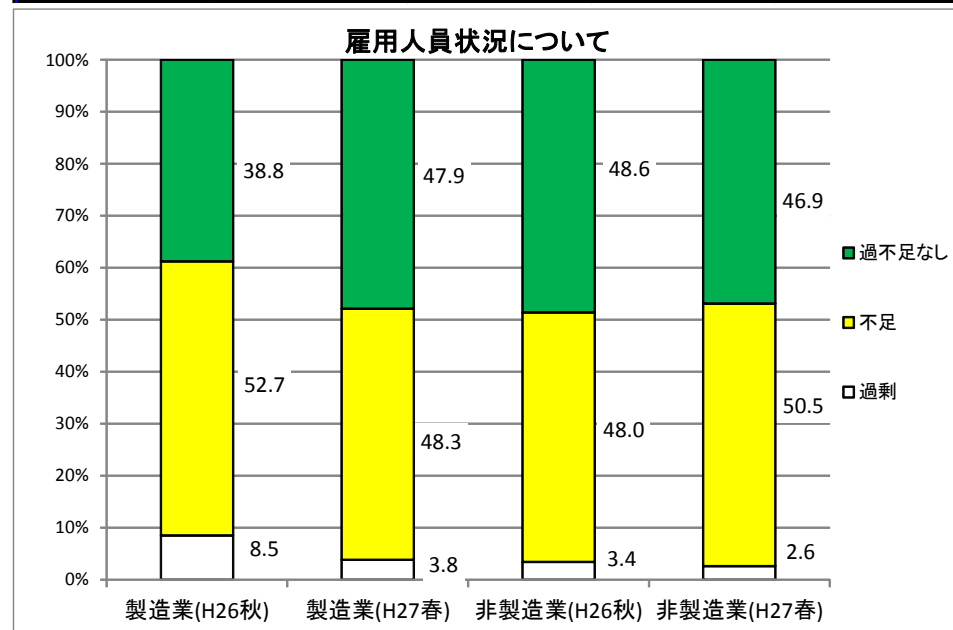


- 『競争激化』と回答する企業は僅かであり、全体の約3割が『ビジネスチャンス』と回答している。
- 『ビジネスチャンス』の内容は、営業範囲の拡大、取引先の増のほか、実際に宮崎や北九州からの観光客が増えているとの声が多く聞かれた。

VI 雇用について

雇用人員状況

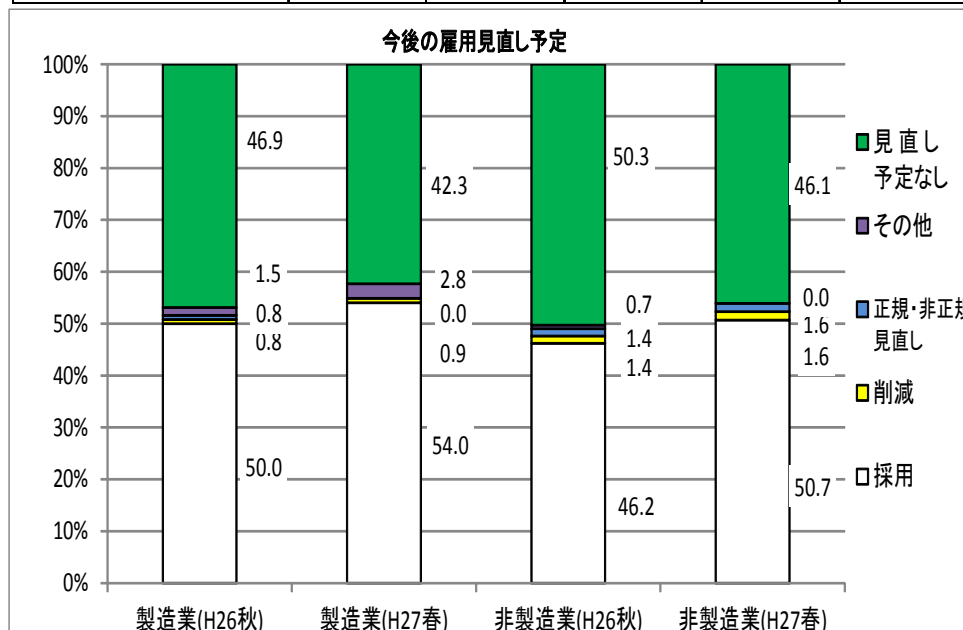
	過剰	不足	過不足なし
製造業(H26秋)	8.5	52.7	38.8
製造業(H27春)	3.8	48.3	47.9
非製造業(H26秋)	3.4	48.0	48.6
非製造業(H27春)	2.6	50.5	46.9



- 製造業、非製造業ともに、『過剰』と回答した企業の割合は10%以下であり、『不足』と回答している企業の割合が多かった。
- 工場や建設現場、福祉施設や宿泊施設などの現場で働く人が見つからないという声が多く聞かれた。

今後の雇用見直し予定

	見直し予定あり				見直し予定なし
	採用	削減	正規・非正規見直し	その他	
製造業(H26秋)	50.0	0.8	0.8	1.5	46.9
製造業(H27春)	54.0	0.9	0.0	2.8	42.3
非製造業(H26秋)	46.2	1.4	1.4	0.7	50.3
非製造業(H27春)	50.7	1.6	1.6	0.0	46.1



- 製造業、非製造業ともに『予定あり（採用）』と回答した企業の割合が増加している。
- 『予定あり（採用）』と回答した企業の中には、外国人研修生の受け入れを検討している企業も複数あった。

Ⅷ 従業員規模別の景況感について

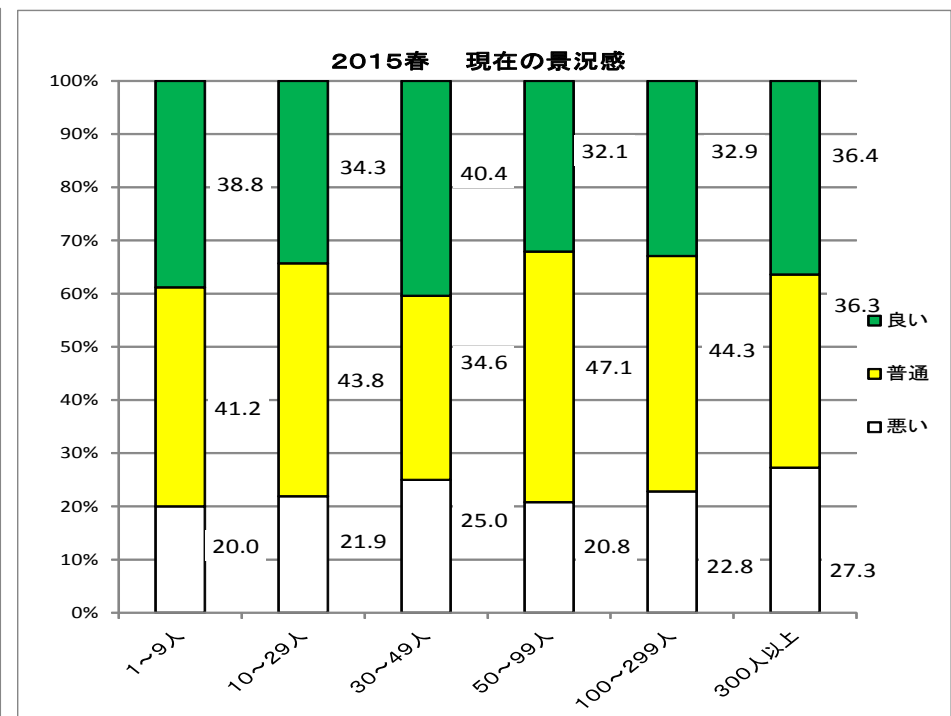
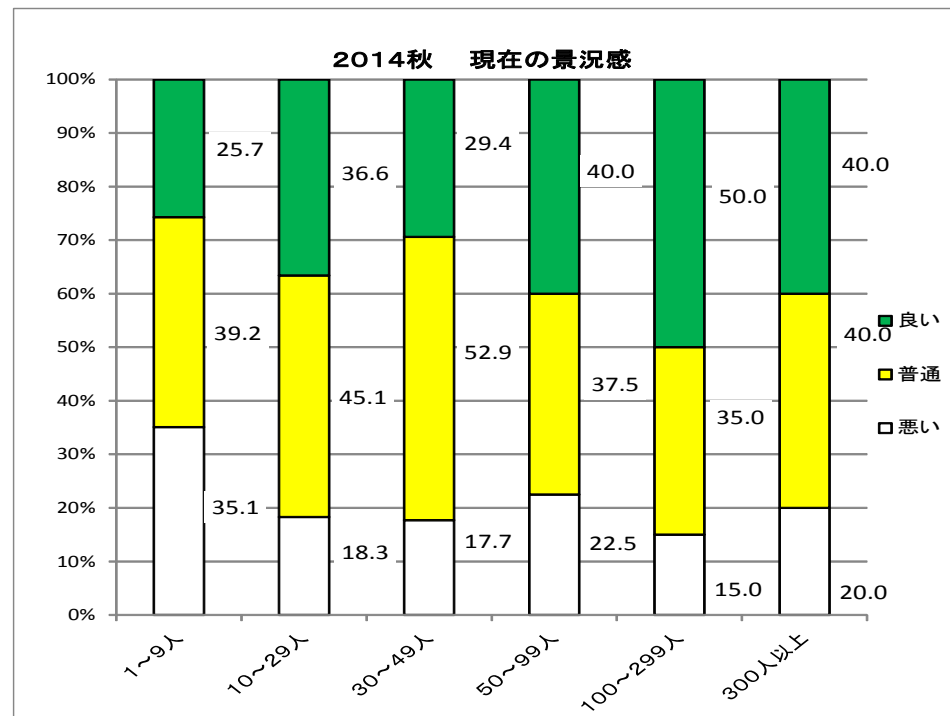
景況感の比較

従業員規模	2014秋				2015春			
	訪問数	良い	普通	悪い	訪問数	良い	普通	悪い
1～9人	74	19	29	26	85	33	35	17
10～29人	82	30	37	15	96	33	42	21
30～49人	34	10	18	6	52	21	18	13
50～99人	40	16	15	9	53	17	25	11
100～299人	40	20	14	6	79	26	35	18
300人以上	10	4	4	2	44	16	16	12
合計	280	99	117	64	409	146	171	92

○「1～9人」規模では、「良い」の割合が増加し、「悪い」の割合が減少しており、景況感が改善している。

○「100～299人」、「300人以上」規模では、「悪い」と回答する企業の割合が増加している。

○全体的には、秋の調査と同様「良い」が「悪い」を上回っているおり、特に「1～9人」の小規模企業で、改善の傾向が見られる。



参 考（その他企業の声）

【為替の影響】

- 円安傾向が続いているため、輸出面での競争力向上につながっている。（電気機械）
- 部品生産車両は海外向けなので円安は追い風。（輸送機械（自動車））
- 海外から国内への生産移管など検討中。（輸送機械（自動車））
- 円安のため外国人観光客は増加しており、特に臼杵市の外国人観光客は昨年比5倍に増えていると聞いた。イギリスの有名なガイドブックに臼杵市が紹介されていることからヨーロッパからの観光客が多い。（卸・小売）

【消費税率引上げの影響】

- 駆け込み需要の反動で26年度の上半期は物が動かなかったが、現在は元に戻っている。（化学・石油）
- 消費税引上げ後反動減がかなりあったが、今年3月になって戻りつつある。（土木・建設）
- 昨年10月まではあったが現在は完全に無くなった。（卸・小売）

【設備投資計画】

- ものづくり補助金を利用して生産設備を導入する予定。（食品加工）
- 特定車種向けに新しくラインを増設予定。（輸送機械（自動車））
- ウイルス除去フィルター工場の増設を発表。（医療医薬品）

【東九州自動車道開通後の見直し】

- 宮崎方面の顧客に対する営業がやりやすくなった。（その他機械）
- 宮崎に外注先が見つかり、新規案件が受注できた。（輸送機械（自動車））
- GWの入場者について、宮崎と北九州から大幅増となり、効果が顕著に現れた。（その他サービス業）
- 開通以来、宮崎や福岡ナンバーの車の来店が多くなった（飲食・宿泊）

【雇用】

- 正社員、パートとともに求人を出しているが応募がない。(食品加工)
- 事務職を募集するとすごい数の応募があるが、製造現場の人材が集まりにくい。(輸送機械(自動車))
- 設計・施工・営業すべての部門で人材が不足している。(土木・建設)
- 若年者は採用できないので高齢者を活用している(対個人サービス)
- 和食の調理人が不足している。(飲食・宿泊)
- 海外研修生を活用しており、今年も採用予定。(鋼鉄・非鉄金属)